



西消防団 団長
北井 道男 さん

われらが支団長、西消防団長に就任

〈執筆者〉西消防団 玉津支団

鳥井 秀記

西消防団玉津支団が担当する玉津地区は明石市に隣接しており、西区の中で最も早く都市化の波を受け、住宅や商業施設が多く混在する複雑な用途地域です。今回はその玉津支団の長であり、今年4月から西消防団の長に就任された、北井道男団長をご紹介します。

北井団長は、昭和20年生まれの62歳。昭和43年に玉津支団二ツ屋班に入団し、平成8年に玉津支団長に就任されました。初対面の方は、がっちりした体格、風ぼうから、少し怖

い印象を持たれるかもしれませんが、実は温厚・誠実な人柄で、普段は農業に従事されています。また、地域活動にも熱心で、自治会などの役員を歴任され、現在はJ A兵庫六甲理事の要職に就き、玉津地域の農業推進に努められ、地域の方々から厚い信頼を寄せられています。

また、北井団長は並外れた統率力の持ち主でもあります。私が一番印象に残っているのは、玉津支団が出場した平成10年の第17回兵庫県消防操法大会です。出場するからには優勝と大きな目標を掲げ、1年以上の長期に及ぶ訓練の中、団長はわれわれ選手とともに汗を流し、常に訓練に参加・指導され、選手・団員の士気の高揚に努められました。また、消防署や地元団体との調整に奔走して玉津地域を一致団結させ、選手がより良い環境のもと訓練ができるよう、ご尽力いただき

きました。その功が実り、われわれは目標としていた優勝を果たし、横浜での全国大会に出場することができました。さらに驚いたのは、全国大会での応援団です。自治会、婦人会、消防団OB…。その人数は何と100名以上！ 夜行バスに乗り、手弁当で横浜まで来ていただき

いた応援団の方々へ感謝するとともに、あらためて団長の人望の厚さ、包容力を感じさせられました。

今回、北井団長は西消防団7支団1430名を率いられることになりましたが、持ち前の熱意で常に先頭に立ち、西消防団をまとめ、導かれることでしょう。われわれ玉津支団は一致団結し、西消防団の強じんな一支柱として、北井団長を支えていきたいと思っておりますので、皆さま、応援よろしく願います。

